

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|-----------------------|
| 学校名 | 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校 |
| 設置者名 | 学校法人 大原学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|-----------------|------------------------------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 商業実務 専門課程 | 経理本科2年制学科 (コンピュータビジネスコース) | 夜・通信 | 510 | 160 | |
| | 経理本科2年制学科 (税理士コース) | 夜・通信 | 870 | 160 | |
| | 経理本科2年制学科 (医療事務コース) | 夜・通信 | 450 | 160 | |
| | 経理本科2年制学科 (情報ITコース) | 夜・通信 | 840 | 160 | |
| 教育・社会福祉 専門課程 | 介護福祉学科 | 夜・通信 | 456 | 160 | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|---|
| https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/ |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|-----------------------|
| 学校名 | 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校 |
| 設置者名 | 学校法人 大原学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|----------------------------------|----------------------------|-----------------------|
| 非常勤 | 司法書士事務所 所長 | 2019. 4. 1～ 2023. 3. 31 | 法人運営における 法務的な検証、管理 |
| 非常勤 | Web デザイン・システム 開発・印刷関連企業 代表 | 2019. 4. 1～ 2023. 3. 31 | 学生募集、教材開発 への助言 |
| 非常勤 | 前：不動産関連企業 代表 | 2019. 4. 1～ 2023. 3. 31 | 校舎等学習環境の 整備への助言 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|-----------------------|
| 学校名 | 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校 |
| 設置者名 | 学校法人 大原学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1. 作成について</p> <p>授業計画書(シラバス)は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。</p> <p>2. 公表の時期について</p> <p>年間計画に基づき、教育課程編成委員会での意見収集を反映させたいうえで、前年度中に作成を行い、新年度開始前までにHPを通じて公表している。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/ |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則並びに履修要綱において、出席、試験、成績、進級および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。</p> <p>学則より抜粋 (試験等)</p> <p>第18条 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。</p> <p>2 各授業科目の成績評価方法については別に定める。</p> | |

(学業成績)

第19条 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、次のとおりとする。

(1) 経理本科2年制学科

秀は90点以上、優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とする。

(2) 介護福祉学科

秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とする。

2 授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりGP (Grade-Point) を与える。

(単位の授与)

第20条 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。

2 介護福祉学科の履修においては、次に掲げる3項目に基づき認定する。

(1) 授業科目ごとの出席率が基準を満たしている者

授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない者、及び介護実習の出席時間数が履修時間数の5分の4に満たない者は、履修の認定を行わないこととする。

(2) 授業科目ごとの学業成績で合格を修めた者

(3) 実習先施設で実習要件を満たしたと評価された者

学生便覧より抜粋

1. 進級について

各課程・学科において、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の進級に必要な授業科目および単位数を修得したと認められた場合、進級できる。

2. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

3. 学業成績について

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。

なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。

4. 授業について

全ての授業科目において、出席・欠席・遅刻・早退を記録する。各課程・学科の授業科目や授業時間、授業科目の単位数は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学業の達成度を客観的に評価するための指標としてGPA (Grade Point Average) を採用し、本校の成績評価に使用している。本校ではGPAを基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標としてGPAを活用している。この客観的な成績評価指標についてはHPで公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

客観的な指標 (GPA) の算出方法

(1) 指標

成績評価における客観的な指標として、GPA (Grade Point Average) を用いる

(2) 成績評価と GP

授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおりGP (Grade-Point) を与える

| ランク | 評定 | 評価内容 | GP |
|-----|-----|----------------------------|----|
| 秀 | 合格 | 内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている | 4 |
| 優 | | 内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている | 3 |
| 良 | | 内容を理解している | 2 |
| 可 | | 内容をほぼ理解している | 1 |
| 不可 | 不合格 | 内容を理解していない | 0 |

(3) 相対評価により成績順位をつける場合にはGPAを用い、順位づけの範囲は「学校」とする

(4) GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{(履修科目の GP} \times \text{履修単位数) の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

GPAの最高は4.0となる。(小数点以下第2位四捨五入)

客観的な指標の算出方法の公表方法

<https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、簿記・税務会計、情報処理、医療事務などの商業実務分野及び福祉人材育成など教育・社会福祉分野の専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって関連産業に従事する有為な人材育成を目的とする。

上記に基づき、ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定めHPに公開しています。

- (1) 社会で守るべき倫理や責任を理解している。
- (2) 各学科の教育課程に示す専門的な知識・技能を身に付けている。
- (3) 教育課程に示す知識・技能を身に付けるために自ら学ぶ姿勢を身に付けている。
- (4) 他者と協力し物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身に付けている。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

- (1) 経理本科2年制学科
1, 700時間(62単位)
- (2) 介護福祉学科
2, 074時間(68単位)

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

| 課程名・学科名 | 称号 |
|-------------------|------------------|
| 商業実務専門課程経理本科2年制学科 | 専門士(商業実務専門課程) |
| 教育・社会福祉専門課程介護福祉学科 | 専門士(教育・社会福祉専門課程) |

学生便覧より抜粋

2. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

- (1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科(1年制コースを除く)を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。
- (2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。
- (3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。
- (4) 欠席累計が100日(休学日数を含む)に達した者は卒業できない。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|-----------------------|
| 学校名 | 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校 |
| 設置者名 | 学校法人 大原学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | 同上 |
| 財産目録 | 同上 |
| 事業報告書 | 同上 |
| 監事による監査報告（書） | 同上 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|------------------------------|---------------|-------------|-----------|-----------|
| 商業実務 | | 商業実務 専門課程 | 経理本科2年制学科 (コンピュータビジネスコース) | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1,700 単位時間 | 2,100 単位時間 | 1,020 単位時間 | 660 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 3,780 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 220人の内数 | | 50人 | 0人 | 9人の内数 | 0人 | 9人の内数 | |

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

1. 作成について

授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。

授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。

成績評価の基準・方法

（概要）

学業の達成度を客観的に評価するための指標としてGPA（Grade Point Average）を採用し、本校の成績評価に使用している。本校ではGPAを基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標としてGPAを活用している。この客観的な成績評価指標についてはHPで公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

客観的な指標（GPA）の算出方法

（１）指標

成績評価における客観的な指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる

（２）成績評価と GP

授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の５種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP（Grade-Point）を与える

| ランク | 評定 | 評価内容 | GP |
|-----|-----|----------------------------|----|
| 秀 | 合格 | 内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている | 4 |
| 優 | | 内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている | 3 |
| 良 | | 内容を理解している | 2 |
| 可 | | 内容をほぼ理解している | 1 |
| 不可 | 不合格 | 内容を理解していない | 0 |
| 認定 | — | — | — |

（３）相対評価により成績順位をつける場合には GPA を使い、順位づけの範囲は「学校」とする

（４）GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{（履修科目の GP} \times \text{履修単位数）の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

GPA の最高は 4.0 となる。（小数点以下第 2 位四捨五入）

卒業・進級の認定基準

（概要）

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、簿記・税務会計、情報処理、医療事務などの商業実務分野及び福祉人材育成など教育・社会福祉分野の専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって関連産業に従事する有為な人材育成を目的とする。

上記に基づき、ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定め HP に公開しています。

- （１）社会で守るべき倫理や責任を理解している。
- （２）各学科の教育課程に示す専門的な知識・技能を身に付けている。
- （３）教育課程に示す知識・技能を身に付けるために自ら学ぶ姿勢を身に付けている。
- （４）他者と協力し物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身に付けている。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

- （１）経理本科 2 年制学科
1, 700 時間（62 単位）
- （２）介護福祉学科
2, 074 時間（68 単位）

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

| 課程名・学科名 | 称号 |
|-------------------|------------------|
| 商業実務専門課程経理本科2年制学科 | 専門士（商業実務専門課程） |
| 教育・社会福祉専門課程介護福祉学科 | 専門士（教育・社会福祉専門課程） |

学生便覧より抜粋

2. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

- (1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（1年制コースを除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。
- (2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。
- (3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。
- (4) 欠席累計が100日（休学日数を含む）に達した者は卒業できない

学修支援等

(概要)

個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|---------------|------------|-------------------|--------------|
| 33人 (100%) | 0人 (0%) | 31人 (93.9%) | 2人 (6.1%) |

(主な就職、業界等)

(株)山形銀行、第一貨物(株)、(株)でん六、山形日産自動車(株)、天童市農業協同組合

(就職指導内容)

全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談 など

(主な学修成果(資格・検定等))

日商簿記検定 2級、3級、MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト) など

(備考) (任意記載事項)

| | | |
|---|----------------|-------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 59 人 | 1 人 | 1.69% |
| (中途退学の主な理由) 病気その他 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子(出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等)をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 | | |

| | | | | | | | |
|----------|--------------|---------------------------|---------------|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 商業実務 | 商業実務 専門課程 | 経理本科 2 年制学科 (税理士コース) | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2 年 | 昼 | 1,700 単位時間 | 2,880 単位時間 | 720 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 3,600 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 220 人の内数 | 14 人 | 0 人 | 9 人の内数 | 0 人 | 9 人の内数 | | |

| |
|---|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 1. 作成について 授業計画書(シラバス)は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。 授業計画書(シラバス)の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA (Grade Point Average) を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。 |
| 客観的な指標 (GPA) の算出方法 |
| (1) 指標 成績評価における客観的な指標として、GPA (Grade Point Average) を用いる |
| (2) 成績評価と GP 授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の 5 種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP (Grade-Point) を与える |

| ランク | 評定 | 評価内容 | GP |
|-----|-----|----------------------------|----|
| 秀 | 合格 | 内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている | 4 |
| 優 | | 内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている | 3 |
| 良 | | 内容を理解している | 2 |
| 可 | | 内容をほぼ理解している | 1 |
| 不可 | 不合格 | 内容を理解していない | 0 |
| 認定 | — | — | — |

(3) 相対評価により成績順位をつける場合には GPA を用い、順位づけの範囲は「学校」とする

(4) GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{(履修科目の GP} \times \text{履修単位数) の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

GPA の最高は 4.0 となる。(小数点以下第 2 位四捨五入)

卒業・進級の認定基準

(概要)

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、簿記・税務会計、情報処理、医療事務などの商業実務分野及び福祉人材育成など教育・社会福祉分野の専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって関連産業に従事する有為な人材育成を目的とする。

上記に基づき、ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定めHPに公開しています。

- (1) 社会で守るべき倫理や責任を理解している。
- (2) 各学科の教育課程に示す専門的な知識・技能を身に付けている。
- (3) 教育課程に示す知識・技能を身に付けるために自ら学ぶ姿勢を身に付けている。
- (4) 他者と協力し物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身に付けている。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

- (1) 経理本科 2 年制学科
1, 700 時間 (62 単位)
- (2) 介護福祉学科
2, 074 時間 (68 単位)

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

| 課程名・学科名 | 称号 |
|---------------------|-------------------|
| 商業実務専門課程経理本科 2 年制学科 | 専門士 (商業実務専門課程) |
| 教育・社会福祉専門課程介護福祉学科 | 専門士 (教育・社会福祉専門課程) |

| | | | |
|---|-------------|-------------------|-------------|
| <p>学生便覧より抜粋</p> <p>2. 卒業について</p> <p>各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。</p> <p>(1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（1年制コースを除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。</p> <p>(2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。</p> <p>(3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。</p> <p>(4) 欠席累計が100日（休学日数を含む）に達した者は卒業できない</p> | | | |
| <p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施している。</p> | | | |
| <p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p> | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 2人 (100%) | 0人 (0%) | 2人 (100%) | 0人 (0%) |
| <p>(主な就職、業界等)</p> <p>(株) ワールドコーポレーション、(学) 大原学園</p> | | | |
| <p>(就職指導内容)</p> <p>全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談 など</p> | | | |
| <p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>税理士試験 簿記論、財務諸表論、日商簿記検定 1級</p> | | | |
| <p>(備考) (任意記載事項)</p> | | | |

| | | |
|--|----------------|-----|
| <p>中途退学の現状</p> | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 11人 | 0人 | 0% |
| <p>(中途退学の主な理由)</p> <p>該当者なし</p> | | |
| <p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生の様子(出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等)をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。</p> | | |

| | | | | | | | |
|----------|--------------|---------------------------|---------------|---------------|-------------|-----------|-----------|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 商業実務 | 商業実務 専門課程 | 経理本科2年制学科 (医療事務コース) | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1,700 単位時間 | 1,440 単位時間 | 1,050 単位時間 | 450 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 2,940 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 220人の内数 | 47人 | 0人 | 9人の内数 | 0人 | 9人の内数 | | |

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

1. 作成について

授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。

授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。

成績評価の基準・方法

（概要）

学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA (Grade Point Average) を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

客観的な指標（GPA）の算出方法

（1）指標

成績評価における客観的な指標として、GPA (Grade Point Average) を用いる

（2）成績評価と GP

授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP (Grade-Point) を与える

| ランク | 評定 | 評価内容 | GP |
|-----|-----|----------------------------|----|
| 秀 | 合格 | 内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている | 4 |
| 優 | | 内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている | 3 |
| 良 | | 内容を理解している | 2 |
| 可 | | 内容をほぼ理解している | 1 |
| 不可 | 不合格 | 内容を理解していない | 0 |
| 認定 | — | — | — |

（3）相対評価により成績順位をつける場合には GPA を用い、順位づけの範囲は「学校」とする

(4) GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{(履修科目の GP} \times \text{履修単位数) の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

GPA の最高は 4.0 となる。(小数点以下第 2 位四捨五入)

卒業・進級の認定基準

(概要)

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、簿記・税務会計、情報処理、医療事務などの商業実務分野及び福祉人材育成など教育・社会福祉分野の専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって関連産業に従事する有為な人材育成を目的とする。

上記に基づき、ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定めHPに公開しています。

- (1) 社会で守るべき倫理や責任を理解している。
- (2) 各学科の教育課程に示す専門的な知識・技能を身に付けている。
- (3) 教育課程に示す知識・技能を身に付けるために自ら学ぶ姿勢を身に付けている。
- (4) 他者と協力し物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身に付けている。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

- (1) 経理本科 2 年制学科
1, 700 時間 (62 単位)
- (2) 介護福祉学科
2, 074 時間 (68 単位)

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

| 課程名・学科名 | 称号 |
|---------------------|-------------------|
| 商業実務専門課程経理本科 2 年制学科 | 専門士 (商業実務専門課程) |
| 教育・社会福祉専門課程介護福祉学科 | 専門士 (教育・社会福祉専門課程) |

学生便覧より抜粋

2. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

- (1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科 (1 年制コースを除く) を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。
- (2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。
- (3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。
- (4) 欠席累計が 100 日 (休学日数を含む) に達した者は卒業できない

| | | | |
|--|------------|-------------------|------------|
| 学修支援等 | | | |
| (概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。 | | | |
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 21人 (100%) | 0人 (0%) | 21人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 医療法人社団丹心会 吉岡病院、聖路加国際病院、東京医科大学病院 等 | | | |
| (就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談 など | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 診療報酬請求事務能力認定試験（医科）、医療請求事務検定1級、医療秘書実務検定1級 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| | | |
|---|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 38人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) 該当者なし | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 | | |

| | | | | | | | |
|----------|--------------|---------------------------|---------------|---------------|---------------|-----------|-----------|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 商業実務 | 商業実務 専門課程 | 経理本科2年制学科 (情報ITコース) | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1,700 単位時間 | 1,680 単位時間 | 1,110 単位時間 | 2,280 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | 5,070 単位時間 | | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 220人の内数 | 22人 | 0人 | 9人の内数 | 0人 | 9人の内数 | | |

| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|----------------------------|------|----|---|----|----------------------------|---|---|------------------------|---|---|-----------|---|---|-------------|---|----|-----|------------|---|----|---|---|---|
| <p>（概要）</p> <p>1. 作成について</p> <p>授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。</p> <p>授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>（概要）</p> <p>学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA（Grade Point Average）を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。</p> <p>客観的な指標（GPA）の算出方法</p> <p>（1）指標</p> <p>成績評価における客観的な指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる</p> <p>（2）成績評価と GP</p> <p>授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP（Grade-Point）を与える</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ランク</th> <th>評定</th> <th>評価内容</th> <th>GP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秀</td> <td rowspan="4">合格</td> <td>内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>内容を理解している</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>内容をほぼ理解している</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>不合格</td> <td>内容を理解していない</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>（3）相対評価により成績順位をつける場合には GPA を用い、順位づけの範囲は「学校」とする</p> <p>（4）GPA 算出方法</p> $GPA = \frac{\text{（履修科目の GP} \times \text{履修単位数）の合計}}{\text{総履修単位数}}$ <p>GPA の最高は 4.0 となる。（小数点以下第 2 位四捨五入）</p> | ランク | 評定 | 評価内容 | GP | 秀 | 合格 | 内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている | 4 | 優 | 内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている | 3 | 良 | 内容を理解している | 2 | 可 | 内容をほぼ理解している | 1 | 不可 | 不合格 | 内容を理解していない | 0 | 認定 | — | — | — |
| ランク | 評定 | 評価内容 | GP | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 秀 | 合格 | 内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 優 | | 内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 良 | | 内容を理解している | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可 | | 内容をほぼ理解している | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不可 | 不合格 | 内容を理解していない | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定 | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>（概要）</p> <p>■教育目的</p> <p>本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、簿記・税務会計、情報処理、医療事務などの商業実務分野及び福祉人材育成など教育・社会福祉分野の専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって関連産業に従事する有為な人材育成を目的とする。</p> <p>上記に基づき、ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定め HP に公開しています。</p> <p>（1）社会で守るべき倫理や責任を理解している。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- (2) 各学科の教育課程に示す専門的な知識・技能を身に付けている。
- (3) 教育課程に示す知識・技能を身に付けるために自ら学ぶ姿勢を身に付けている。
- (4) 他者と協力し物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身に付けている。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

- (1) 経理本科2年制学科
 - 1, 700時間(62単位)
- (2) 介護福祉学科
 - 2, 074時間(68単位)

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

| 課程名・学科名 | 称号 |
|-------------------|------------------|
| 商業実務専門課程経理本科2年制学科 | 専門士(商業実務専門課程) |
| 教育・社会福祉専門課程介護福祉学科 | 専門士(教育・社会福祉専門課程) |

学生便覧より抜粋

2. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

- (1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科(1年制コースを除く)を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。
- (2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。
- (3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。
- (4) 欠席累計が100日(休学日数を含む)に達した者は卒業できない

学修支援等

(概要)

個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|------------|------------|-------------------|------------|
| 0人 (0%) | 0人 (0%) | 0人 (0%) | 0人 (0%) |

(主な就職、業界等)

該当者なし

(就職指導内容)

全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談 など

| |
|------------------------------|
| (主な学修成果 (資格・検定等)) 該当資格なし |
| (備考) (任意記載事項) |

| | | |
|---|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 0人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) 該当者なし | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子 (出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等) をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 | | |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|---------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 教育・社会福祉 | | 教育・社会福祉 専門課程 | 介護福祉学科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 2,044 単位時間 | 1,188 単位時間 | 850 単位時間 | 456 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 2,494 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 70人の内数 | | 28人 | 0人 | 3人 | 0人 | 3人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 1. 作成について 授業計画書 (シラバス) は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。 授業計画書 (シラバス) の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA (Grade Point Average) を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。 |
| 客観的な指標 (GPA) の算出方法 (1) 指標 |

- 成績評価における客観的な指標として、GPA (Grade Point Average) を用いる
- (2) 成績評価と GP
 授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP (Grade-Point) を与える

| ランク | 評定 | 評価内容 | GP |
|-----|-----|----------------------------|----|
| 秀 | 合格 | 内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている | 4 |
| 優 | | 内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている | 3 |
| 良 | | 内容を理解している | 2 |
| 可 | | 内容をほぼ理解している | 1 |
| 不可 | 不合格 | 内容を理解していない | 0 |
| 認定 | — | — | — |

- (3) 相対評価により成績順位をつける場合には GPA を用い、順位づけの範囲は「学校」とする

- (4) GPA 算出方法

$$GPA = \frac{(\text{履修科目の GP} \times \text{履修単位数}) \text{の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

GPA の最高は 4.0 となる。(小数点以下第 2 位四捨五入)

卒業・進級の認定基準

(概要)

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、簿記・税務会計、情報処理、医療事務などの商業実務分野及び福祉人材育成など教育・社会福祉分野の専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって関連産業に従事する有為な人材育成を目的とする。

上記に基づき、ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定めHPに公開しています。

- (1) 社会で守るべき倫理や責任を理解している。
- (2) 各学科の教育課程に示す専門的な知識・技能を身に付けている。
- (3) 教育課程に示す知識・技能を身に付けるために自ら学ぶ姿勢を身に付けている。
- (4) 他者と協力し物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身に付けている。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

- (1) 経理本科 2 年制学科
 - 1, 700 時間 (62 単位)
- (2) 介護福祉学科
 - 2, 074 時間 (68 単位)

■専門士

下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

| 課程名・学科名 | 称号 |
|-------------------|------------------|
| 商業実務専門課程経理本科2年制学科 | 専門士（商業実務専門課程） |
| 教育・社会福祉専門課程介護福祉学科 | 専門士（教育・社会福祉専門課程） |

学生便覧より抜粋

2. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

- (1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（1年制コースを除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。
- (2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。
- (3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。
- (4) 欠席累計が100日（休学日数を含む）に達した者は卒業できない

学修支援等

（概要）

個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|--------------|------------|-------------------|------------|
| 6人 (100%) | 0人 (0%) | 6人 (100%) | 0人 (0%) |

（主な就職、業界など）

医療法人徳洲会 介護老人保健施設舟形徳洲苑、社会福祉法人恩賜財団済生会支部 山形県済生会 等

（就職指導内容）

全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談 など

（主な学修成果（資格・検定等））

介護福祉士

（備考）（任意記載事項）

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 18人 | 1人 | 5.5% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更その他 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子(出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等)をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考(任意記載事項) |
|-------------------------------|----------|-------------|----------|------------|
| 経理本科2年制学科 (コンピュータービジネスコース) | 120,000円 | 660,000円 | 260,000円 | |
| 経理本科2年制学科 (税理士コース) | 120,000円 | 660,000円 | 200,000円 | |
| 経理本科2年制学科 (医療事務コース) | 120,000円 | 660,000円 | 200,000円 | |
| 経理本科2年制学科 (情報ITコース) | 120,000円 | 660,000円 | 260,000円 | |
| 介護福祉学科 | 120,000円 | 660,000円 | 260,000円 | |
| 修学支援(任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| |
|--|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/ |
| 学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員会を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。 (1) 教育理念・目的・育成人材像 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 |

| | | |
|--|----------------------------|----------------|
| (7) 学生の募集と受け入れ (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 医療法人篠田好生会 篠田総合病院 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 社会医療法人二本松会 かみのやま病院 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 学校法人北杜学園 仙台青葉学院短期大学 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 企業等委員 (有識者) |
| 医療法人杏山会 吉川記念病院 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 卒業生 |
| 社会医療法人みゆき会 みゆきの丘 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 一般財団法人 山形県老人福祉施設協議会 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 企業等委員 (有識者) |
| 社会医療法人みゆき会 みゆきの丘 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 卒業生 |
| 有限会社 佐藤税務会計事務所 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 東北税理士会 山形支部 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 企業等委員 (有識者) |
| 有限会社 佐藤税務会計事務所 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 卒業生 |
| 山形建設株式会社 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 山形商工会議所 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 企業等委員 (有識者) |
| 山形建設株式会社 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 卒業生 |
| (山形市)城南むつみ町内会 | 令和3年4月1日 ～令和5年3月31日(2年) | 地域住民 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 | | |
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/ | | |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/ |
|--|

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。